



材木小屋 登録番号40-0034号

建築年代：明治前期

桁行約16mの土蔵造で、西側に稲蔵が接続する。屋根は東西棟の切妻造、棧瓦葺で、南面に戸口を2箇所設け、庇を付ける。外壁は漆喰塗だが、内部は東西に分かれ、西側は2階建になるが、東側は吹き抜けの広大な1室とする。屋敷内で最も大きい収納施設である。